

【基準耐力シート】

のセルにのみ入力してください。
 

名称	○○ 邸部分評点計算書
作成者	○○ ○○

**A表:既存壁(改修を行わない壁)の耐震要素入力欄**

要素番号	名称	部位	仕様 【プルダウンにない仕様は、シート下方に追記してください】	基準耐力 (kN/m)	耐力 (kN/m)
01	既存壁1	壁1	09:外-モルタル塗り壁(1.6)	1.6	4.20
		耐震要素	06:筋交い、45x90【端部金物なし】(2.6)	2.6	
02	既存壁2	壁1	26:内-石膏ボード張り(1.2)	1.2	1.20
		耐震要素			
03		壁1			0.00
		耐震要素			
04		壁1			0.00
		耐震要素			
05		壁1			0.00
		耐震要素			
06		壁1			0.00
		耐震要素			
07		壁1			0.00
		耐震要素			
08		壁1			0.00
		耐震要素			

**B表:改修壁の耐震要素入力欄**

要素番号	名称	部位	仕様	基準耐力 (kN/m)	耐力 (kN/m)
11	改修壁1	壁1	09:外-モルタル塗り壁(1.6)	1.6	6.00
		耐震要素	07:筋交い、45x90【端部金物あり】(3.2)	3.2	
		壁2	39:内-石膏ボード張り【胴縁仕様】(1.2)	1.20	
12	改修壁2	壁1	09:外-モルタル塗り壁(1.6)	1.6	6.80
		耐震要素	10:構造用合板(5.2)	5.2	
13	改修壁3	壁1	09:外-モルタル塗り壁(1.6)	1.6	4.10
		耐震要素	11:構造用合板(非耐力壁仕様)(2.5)	2.5	
		壁2			
14	改修壁4	壁1			5.20
		耐震要素	10:構造用合板(5.2)	5.2	
15	改修壁5	壁1	26:内-石膏ボード張り(1.2)	1.2	5.60
		耐震要素	07:筋交い、45x90【端部金物あり】(3.2)	3.2	
			26:内-石膏ボード張り(1.2)	1.20	
16	改修壁6	壁1	26:内-石膏ボード張り(1.2)	1.2	6.40
		耐震要素	10:構造用合板(5.2)	5.2	
17	改修壁7	壁1	26:内-石膏ボード張り(1.2)	1.2	3.70
		耐震要素	11:構造用合板(非耐力壁仕様)(2.5)	2.5	
		壁2			
18		壁1			0.00
		耐震要素			
19		壁1			0.00
		耐震要素			
		壁2			
20		壁1			0.00
		耐震要素			

※該当する仕様がない場合は、ページ下方にある「壁仕様リスト」の空欄に「仕様名称」と「壁強さ倍率(kN/m)」を入力してください。

【判定シート】

のセルにのみ入力してください。

名称 ○○邸部分評点計算書  
作成者 ○○ ○○

C表: 諸条件入力欄

建物仕様	2:重い建物	積雪割増	あり	1F面積①	98.25	m <sup>2</sup>	算定範囲の面積	15.52	m <sup>2</sup>
建物階数	2:2階建て	積雪深(m)	1.5	2F面積②	31.047	m <sup>2</sup>	配置係数E 【改修後】	X	1.00
基礎仕様	2:基礎Ⅱ	軟弱地盤	あり	R <sub>n</sub> (②÷①)	0.32			Y	0.75
接合部仕様	4:接合部Ⅳ	形状割増	あり	K <sub>I</sub> 【表1参照】	0.59		劣化係数D	0.76	

D表: 部分必要耐力の算定【表1参照】 入力不要: 自動計算

算定範囲の面積	×	(	係数	×	K1	+	積雪割増)	×	地震地域係数	×	地盤割増	×	形状割増	=	必要耐力
15.52	×	(	0.92	×	0.59	+	0.39)	×	0.9	×	1.50	×	1.13	=	22.08

E表: 部分存在耐力の算定

- ・改修部分の保有耐力を計算します。
- ・「基準耐力シート」で入力した『要素番号』毎の各耐震要素の長さ[L(m)]を入力して下さい。

検討位置	要素番号	( C [kN/m] × 長さ(L) [m] × f )	Pwi [kN]	Σ Pwi [kN]	
X方向	既存壁	01:既存壁1 ( 4.2 × 0.96 × 0.70 )	2.80	3.94	
		02:既存壁2 ( 1.2 × 0.96 × 1.00 )	1.14		
		( × × )			
		( × × )			
	改修壁	12:改修壁2 ( 6.8 × 0.96 × 0.70 )	4.54	4.54	
		( × × )			
		( × × )			
部分存在耐力 (X方向)		Pw(既存) E D Pw(改修) E D 0.25QrDE	合計		
		( 3.94 × 1.00 × 0.76 )+( 4.54 × 1.00 × 1.00 )+	4.20	=	11.72
検討位置	要素番号	( C [kN/m] × 長さ(L) [m] × f )	Pwi [kN]	Σ Pwi [kN]	
Y方向	既存壁	02:既存壁2 ( 1.2 × 3.00 × 1.00 )	3.60	3.60	
		( × × )			
		( × × )			
		( × × )			
	改修壁	11:改修壁1 ( 6.0 × 1.97 × 0.70 )	8.27	21.08	
		11:改修壁1 ( 6.0 × 1.97 × 0.70 )	8.27		
		12:改修壁2 ( 6.8 × 0.96 × 0.70 )	4.54		
部分存在耐力 (Y方向)		Pw(既存) × E × D + Pw(改修) × E × D + 0.25QrDE	合計		
		3.60 × 0.75 × 0.76 + 21.08 × 0.75 × 1.00 + 3.15	=	21.00	

F表: 部分評点の判定・・・入力不要: 自動計算

X方向	存在耐力 / 必要耐力 = 11.72 / 22.08 = 0.53 < 1.5 →判定:	再検討
Y方向	存在耐力 / 必要耐力 = 21.00 / 22.08 = 0.95 < 1.5 →判定:	再検討